

調査名	実施主体	調査体制	調査の概要	活用方法	課題
1. ねぐら・コロニーにおける個体数と営巣数の調査	都道府県	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自然保護団体や調査会社等への委託</li> <li>・ 職員・鳥獣保護員による直接の調査</li> <li>・ 関係機関、団体研究者等からの情報提供</li> <li>・ 飛来数調査時のデータからの抜粋</li> </ul>	<p>方法：目視による観察</p> <p>時期：春、夏、冬期の3回実施している場合が多い</p> <p>データの種類： ねぐら・コロニー毎の個体数と営巣数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管理計画への記載</li> <li>・ 個体群管理の方針検討の際の資料</li> <li>・ 分布管理や個体数調整の効果や影響の把握</li> <li>・ 個体数の長期的な増加や減少の傾向のモニタリング</li> <li>・ 季節による個体数の変動からカワウの季節移動の推定</li> <li>・ 「被害を与えるカワウの個体数」の推計</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調査の時期、頻度、範囲について都道府県毎にばらつきがある。</li> </ul>
2. 漁場への飛来数調査	内水面漁協	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 内水面漁協による調査</li> </ul>	<p>方法：目視による観察</p> <p>時期：各漁協で異なる</p> <p>データの種類： 主に被害が発生している時期の河川湖沼等へのカワウの飛来数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飛来数や被害時期の把握による効率的な対策の実施</li> <li>・ 防除対策の効果の把握</li> <li>・ 「被害を与えるカワウの個体数」の推計（※現時点ではねぐらでの個体数データによる推計）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漁協組合員の減少・高齢化等により飛来数調査を行えていない漁協がある。</li> <li>・ 飛来数調査を行っている漁協についても調査に対する知見が未熟であり調査の習熟度を高めていく必要がある。</li> </ul>

調査名	実施主体	調査体制	調査の概要	活用方法	課題
3. 一斉追い払い対策の効果測定調査	関東カワウ広域協議会の都県	対策を実施する漁協の自主的な調査データの提供	<p>方法：目視による観察</p> <p>時期：一斉追い払い（主に4月下旬、一部の県は5月）期間の前後各1回</p> <p>データの種類： 河川湖沼等の対策実施地点への朝のカワウの飛来数</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一斉追い払い対策の効果検証</li> <li>被害地域の分布把握</li> <li>パンフレットへの掲載</li> </ul>	
4. 被害状況把握のためのアンケート調査	関西広域連合の構成府県	漁協へのアンケート調査（※集計は別途、関西広域連合から業務委託）	<p>方法：アンケート調査</p> <p>時期：12～1月</p> <p>データの種類： 漁協による前年と比較した飛来数や被害の変化傾向、各月の飛来数、対策の実施内容等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>カワウ対策等の効果検証</li> <li>被害地域の分布把握</li> </ul>	